

# 高齢者の補聴器購入に助成を

今議会に、「加齢性難聴者が補聴器を買うときの補助制度をつくる」ことを求める請願が出されました。

高齢者の加齢による難聴は、ほとんどの場合、身体障害者として認められるほどの高度難聴レベルではなく、法による助成の対象にはなりません。近年、高齢者人口が増え、高齢者の生活状態が悪くなる中で、「補聴器を買いたい」が、3万

円から30万円以上もして買えない」という声が広がり、助成を実施する自治体が増えてきました。千葉県内では、浦安市が船橋市が助成しています。浦安市では65歳以上の高齢者が医師の診断書をつけて申請すれば、3万5千円を限度に所得制限なしで助成しています。高齢者の社会参加、定年延長や再雇用をするうえで、難聴は大きな障害です。

## あなたの難聴のレベルは？

軽度難聴	小さい声での会話がききとりにくい 
中度難聴	普通の会話でよく不自由を感じる 
高度難聴	耳元に口を近づけないと大声でもききとりにくい 

【年金者しんぶん 2019年9月15日号】より

## 台風15号被災地でボランティア



武藤みつえ議員

長引く停電と家屋の損壊など、千葉県内の多くの地域で被害がありました。9月下旬、山武市、木更津市へボランティアとして支援に行ってきました。「水も電気もこない。誰も助けてくれない」という訴えも。災害のたびに被災者にこんな思いをさせてはならないと思いました。

## 通学路の安全対策を要望

小中学生や高校生の通学路となっている「戸張街道」の安全確保のため、地域のみなさんが、「ゾーン30」などの安全対策を求めて集めた署名を、柏市に提出しました。「児童注意」などの道路標示をすることになりました。



やざわ英雄議員

## 危険な空き家、解体へ



クを積んだ擁壁も下の住宅側に傾き、大変危険な状況です。

ひらの光一議員

市内西町の方から相談が寄せられていた空き家の解体が始まりました。台風15号、19号でも屋根の一部が周りの宅地に飛散した空きアパートです。コンクリートブロックを積んだ擁壁も下の住宅側に傾き、大変危険な状況です。

## 3小児童数の増加に対応を

保護者から「下の子が3小に入れません」と不安が寄せられ、議会で取り上げました。柏市は「児童数増加の対応で令和2年度から建てかえ工事に着手、3年度後半から利用できるよう進める。学区外就学は、在校生も兄弟姉妹関係も原則受け入れ可能」との答弁でした。



くさかみや子議員

## 横断歩道やっと実現

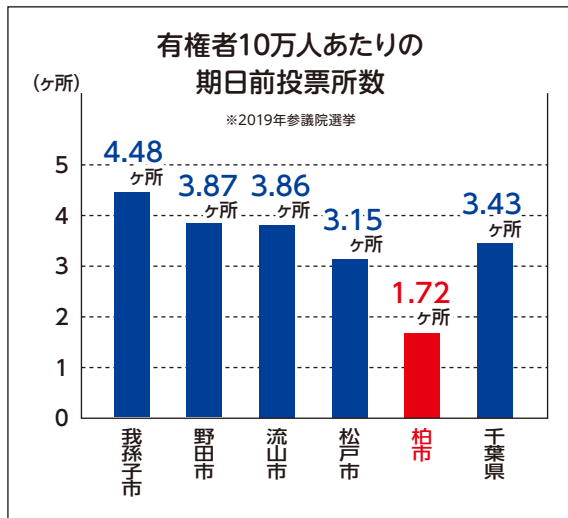


わたべ和子議員

昨年から要望していた十余二小通学路の安全対策、緑町ふるさと会館脇にやっと横断歩道が設置されました。合わせて路側帯も引き直され、ガードレールや側溝も改修されました。

## 少なすぎる柏市の期日前投票所

各種選挙での低投票率が問題になっています。日本共産党は県内自治体との比較でも極端に少ない柏市の期日前投票所の実態を示し増設を求めました。選挙もその事実を認めました。



「中央公民館の代替施設を求める会」のみなさんの粘り強い運動で、新たに比較的柏駅に近い柏中学校体育館2階の多目的室と、音楽活動もできるモラージュルーム（モラージュ柏）が利用できることになりました。運動の成果です。柏市は社会教育施設である公民館を近隣センターに変え、合併後も維持されてきた沼南公民館も3年前に近隣センターに変えました。公民館の役割は、住民の教育の向上、健康や社会福祉の増進です。日本共産党は、唯一の公民館となった中央公民館は、改修後も教育委員会のもとで社会教育施設としての役割を果たすよう求めています。

## 中央公民館は改修後も教育施設として維持を

## 暮らしの何でも相談

わたべ 和子

事務所 7178・5155

くさかみや子

事務所 7164・6870

ひらの 光一

事務所 7145・9672

武藤 みつえ

事務所 7170・6112

やざわ 英雄

事務所 7193・8175

サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・ホームレス支援・生活保護地域の要求。お気軽に何でもご相談！

